

医療用品4 整形用品
管理医療機器 歯科根管用ポスト成形品 38609000
ビューティコア ファイバーポスト

再使用禁止

【禁忌・禁止】

- ・本品、メタクリル酸系モノマー又はメタクリル酸系ポリマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には、使用しないこと。
- ・下記の症例、患者には適用しないこと。
本品が直線的に装着できない症例
残存歯質の全周において、フェルール（歯冠部残存歯質）の高さ1mm未満、厚さ1mm未満の症例
- ・本品は再使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

本品はガラスファイバー、Bis-GMA及びメタクリル酸系モノマーの共重合体からなり、先端部に円錐台構造を有する円柱体である。



単位：mm

種類	D1 ()	D2 ()	L1	L2
1.0mm	0.58	1.02	4.00	20.0
1.2mm	0.68	1.22	4.00	20.0
1.4mm	0.77	1.42	4.00	20.0
1.6mm	0.86	1.62	4.00	20.0

[原理]

支台築造にて、本品と歯科用支台築造材料を硬化させて一体化することで支台歯に維持又は補強効果を与える。

[主成分]

- ・ガラスファイバー
- ・Bis-GMA及びメタクリル酸系モノマーの共重合体

【使用目的又は効果】

歯科修復物、補綴物等の維持又は補強に用いる。

【使用方法等】

[本品と併用する材料]

歯科用支台築造材料：「ビューティコア」
歯科セラミックス用接着材料：「松風ポーセレンプライマー」
歯科接着用レジンセメント：「レジセム」
「ビューティセム SA」

[使用方法]

1. 直接法
 - 1) 根管形成・根管充填
通法に従い根管形成、根管充填を行います。
 - 2) 築造窩洞の形成
X線写真等を用いてピーソリーマー等及び本品の径を決定します。
ピーソリーマー等を用いて不要な根管充填材を除去します。その際、根管充填材は根尖から4mm以上残します。
根管形成用ドリル等を用いて築造窩洞を形成します。その際、フェルールの高さ1~2mm以上、厚さ1mm以上を全周で確保できるように形成します。
築造窩洞を水洗し、ペーパーポイント等を用いて水分を窩洞内から取り除いた後、エア乾燥を行います。

3) 本品の試適

本品を築造窩洞に試適します。
必要に応じて本品を試適した状態でX線写真を撮影し、本品が築造窩洞先端まで到達していることを確認します。
試適した本品を築造窩洞から取り外した後、ダイヤモンドディスク又はダイヤモンドバー等を用いて適切な長さに調節します。

4) 本品の表面処理

アルコール綿球等で本品を清掃した後、エア乾燥を行います。
歯科セラミックス用接着材料の添付文書に従い、本品の表面処理を行います。

5) 本品の植立

通法に従い歯科用支台築造材料を用いて、本品を植立します。

6) 支台築造・支台歯形成

歯科用支台築造材料の添付文書に従い、支台築造、支台歯形成を行います。

2. 間接法

1) 根管形成・根管充填

通法に従い根管形成、根管充填を行います。

2) 築造窩洞の形成

X線写真等を用いてピーソリーマー等及び本品の径を決定します。
ピーソリーマー等を用いて不要な根管充填材を除去します。その際、根管充填材は根尖から4mm以上残します。
根管形成用ドリル等を用いて築造窩洞を形成します。その際、フェルールの高さ1~2mm以上、厚さ1mm以上を全周で確保できるように形成します。
築造窩洞を水洗し、ペーパーポイント等を用いて水分を窩洞内から取り除いた後、エア乾燥を行います。

3) 印象採得及び模型製作

通法に従い築造窩洞の印象を採得し、模型を作製します。

4) 本品の試適

窩洞内のアンダーカットはワックス等でブロックアウトします。
適切な径の本品を選択し、模型上の築造窩洞に試適します。その際、本品が築造窩洞先端まで到達していることを確認します。
試適した本品を模型上の築造窩洞から取り外した後、ダイヤモンドディスク又はダイヤモンドバー等を用いて適切な長さに調節します。

5) 本品の表面処理

アルコール綿球等で本品を清掃した後、エア乾燥を行います。
歯科セラミックス用接着材料の添付文書に従い、本品の表面処理を行います。

6) ポストコアの作製

歯科用支台築造材料の付着を防止するため、模型上の築造窩洞に分離材を塗布します。歯科用支台築造材料の添付文書に従い、本品を植立した後、支台築造を行い、ポストコアを作製します。

7) ポストコアの装着

ポストコアを模型から取り外し、歯科接着用レジンセメントの添付文書に従い、築造窩洞に装着します。

[使用方法に関連する使用上の注意]

- 1) 本品はピンセット等で取り扱うこと。本品に手指等が接触した場合は、アルコール綿球等で汚れを拭き取った後、エア乾燥を行い確実に乾燥させること。
- 2) 本品の長さ調整は、必ず植立前に行うこと。また、ファイバーがほぐれる恐れがあるため、はさみ、円盤状のカーボランダム等は使用しないこと。

- 3) 歯科セラミックス用接着材料を用いて本品の表面処理を行った後に表面が汚染された場合は、アルコール綿球等で清掃を行ってから、再度処理を行うこと。
- 4) 本品にサンドブラスト処理を行わないこと。
- 5) 本品を削って形状を変えないこと。
- 6) 本品の試適及び植立時に患者の口腔内に落下させないようにしっかりと保持すること。本品の誤飲防止のためラバーダムの使用を推奨します。
- 7) 支台歯の形態修正時に、本品高速回転で研削しないこと。高速回転で研削された本品は黒褐色になることがあります。その際は回転速度を落として再度研削してください。
- 8) 加熱による消毒又はオートクレーブ滅菌は行わないこと。

【使用上の注意】

[重要な基本的注意]

- 1) 本品の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診察を受けさせること。
- 2) 本品の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた術者は使用を中止し、医師の診察を受けること。
- 3) 本品、メタクリル酸系モノマー又はメタクリル酸系ポリマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある術者は使用しないこと。
- 4) 本品の使用に際し、必要に応じてラバーダム等の防湿処理を行うこと。
- 5) 本品を誤飲させないように注意すること。
- 6) 本品及び本品を使用した硬化物の切削、研磨作業等の際には、粉塵等による人体への影響を避けるために、局所吸塵装置、公的機関が認可した防塵マスク、防護眼鏡等を使用し、粉塵等の吸入及び目への付着を防止すること。
- 7) 他の歯科根管用ポスト成形品と混用しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

[保管方法]

- ・本品は、高温、多湿、直射日光を避けて保管すること。
- ・本品は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者	株式会社 松風
住所	〒605-0983 京都市東山区福稲上高松町 11
電話番号	075-561-1112
製造業者	RTD
	アールティディ
国名	フランス